

U.S. Indicators

発表日: 2024年2月2日(金)

米国 製造業の縮小ペース鈍化(24年1月ISM製造業)

～製造業の調整は15ヵ月間継続も深刻化回避～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:050-5474-7493)

24年1月のISM製造業景気指数(季節調整値)は、49.1(前月47.1:改定前47.4)と市場予想中央値47.2(筆者予想46.8)を大幅に上回った。前月から2.0%上昇し、米製造業の調整ペース鈍化を示した。また、縮小した業種数は18業種中13業種と多くの業種で縮小しているものの、前月の16業種から減少した。

ISM製造業景気指数は、世界経済の減速を背景に、拡大縮小の分岐点である50を15ヵ月連続で下回っており、調整期間がITバブル崩壊後に記録した18ヵ月に迫っている。ただし、底堅い国内需要等を背景に当時よりも落ち込みが小さく、製造業は深刻な調整を回避している。

1月の構成項目別の前月からの変化では、雇用が低下した一方、新規受注、在庫、入荷遅延、生産が上昇した。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、雇用が前月比▲0.08%ptの押し下げ寄与となった一方、新規受注が前月比+1.10%pt、在庫が前月比+0.46%pt、入荷遅延が前月比+0.42%pt、生産が前月比+0.10%ptの押し上げ寄与となった。

1月の構成項目の水準では、在庫、入荷遅延、雇用が50を下回った一方、新規受注、生産が50を上回った。在庫が需要の鈍化や景気の先行き懸念を背景に50を下回っているほか、入荷遅延は供給制約の改善や需要の鈍化によって50を下回っている。また、雇用は4ヵ月連続で50を下回り、これまで調整を回避してきた製造業の雇用減少が示唆された。雇用の縮小した業種数(全18業種)が9業種(前月9業種)となった一方、拡大した業種は、非鉄、石油・石炭、輸送機器の3業種(前月3業種)にとどまった。6業種が前月比変わらずとなった。

一方、新規受注は17ヵ月ぶりに50台を回復した。しかし、受注の縮小した業種数が18業種中10業種と多く、受注の拡大した業種は、アパレル・皮革製品、一次金属、化学製品、輸送機器、加工金属の5業種にとどまっており、力強さに欠けている。

また、生産は輸送機器主導で3ヵ月ぶりに50を上回った。ただし、生産の縮小した業種数が18業種中13業種と過半数を上回っているほか、生産の拡大した業種は、アパレル・皮革製品、紙パ、一次金属、輸送機器の4業種にとどまっており、力強さに欠けている。

サブ項目では、輸出受注DIが45.2(前月49.9)と低下し、輸出の減少幅拡大を示した。一方、輸入DIは50.1(前月46.4)と上昇し、輸入の増加を示しており、米貿易赤字の拡大を示唆した。

インフレの動向を示す仕入価格指数は、52.9(前月45.2)と9ヵ月ぶりに50を上回り、財価格の再上昇を示した。商品別では、アルミニウム、段ボール箱、天然ガス等が下落した一方、スチール、派遣労働、ポリプロピレン等が上昇した。供給不足品では、引き続き電気部品、電子部品などが挙げられた。



I S M製造業景気指数

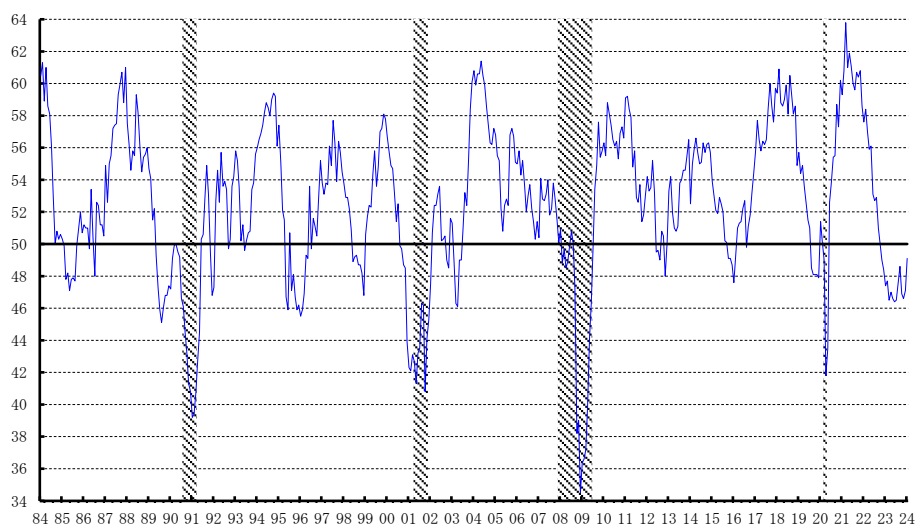
	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
23/01	47.4	42.5	48.0	50.6	50.2	45.6	43.4	44.5	49.4	47.8
23/02	47.7	47.0	47.3	49.1	50.1	45.2	45.1	51.3	49.9	49.9
23/03	46.5	44.3	47.8	46.9	47.5	44.8	43.9	49.2	47.6	47.9
23/04	47.0	45.7	48.9	50.2	46.3	44.6	43.1	53.2	49.8	49.9
23/05	46.6	42.6	51.1	51.4	45.8	43.5	37.5	44.2	50.0	47.3
23/06	46.4	45.6	46.7	48.1	44.0	45.7	38.7	41.8	47.3	49.3
23/07	46.5	47.3	48.3	44.4	46.1	46.1	42.8	42.6	46.2	49.6
23/08	47.6	46.8	50.0	48.5	44.0	48.6	44.1	48.4	46.5	48.0
23/09	48.6	49.2	52.5	51.2	45.8	46.4	42.4	43.8	47.4	48.2
23/10	46.9	46.2	50.0	47.1	43.6	47.7	42.2	45.1	49.4	47.9
23/11	46.6	47.8	48.8	46.1	44.3	46.2	39.3	49.9	46.0	46.2
23/12	47.1	47.0	49.9	47.5	43.9	47.0	45.3	45.2	49.9	46.4
24/01	49.1	52.5	50.4	47.1	46.2	49.1	44.7	52.9	45.2	50.1

(出所) I S M : the Institute for Supply Management

1月に拡大した業種は、全18業種のうちアパレル・皮革製品、繊維、輸送機器、化学製品の4業種と12月の1業種から増加した（下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す）。主要6業種で成長した業種は輸送機器、化学製品の2業種と前月のゼロから増加した。一方、縮小した業種は、木材製品、一般機械、プラスチック・ゴム製品、非鉄、家具・同関連、コンピューター・電子機器、加工金属、石油・石炭、食品・飲料・タバコ、電気設備・部品、紙製品、その他製造業、一次金属の13業種と前月の16業種から減少した。印刷・関連サポート活動は前月と変わらずとなった。

先行きに関して、金融環境の引き締めによる世界的な需要鈍化の影響によって、24年半ばにかけて製造業部門は調整を継続すると見込まれる。しかし、自動車の生産拡大が期待できるほか、在庫調整の進展を背景に、製造業部門は徐々に調整幅を縮小すると予想される。

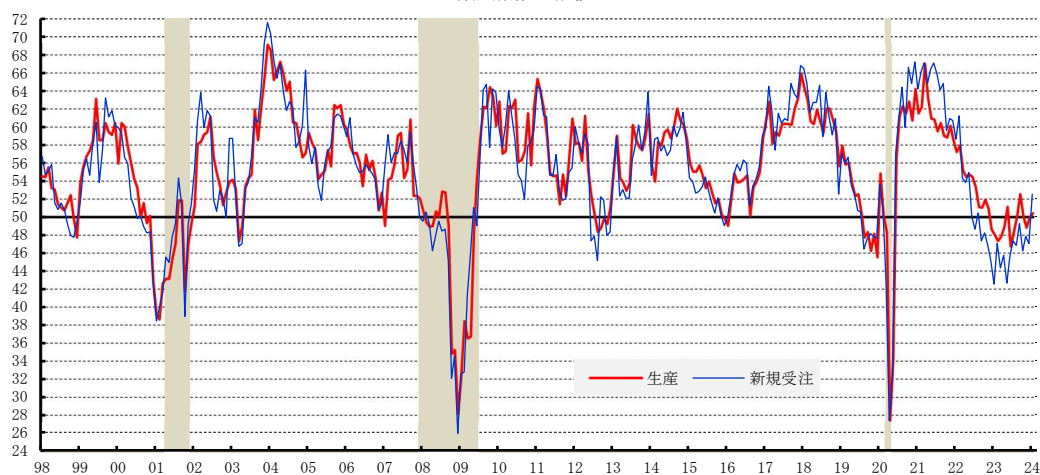
I S M製造業景気指数の推移



(出所) I S M

(注) シャド一部は景気後退期。

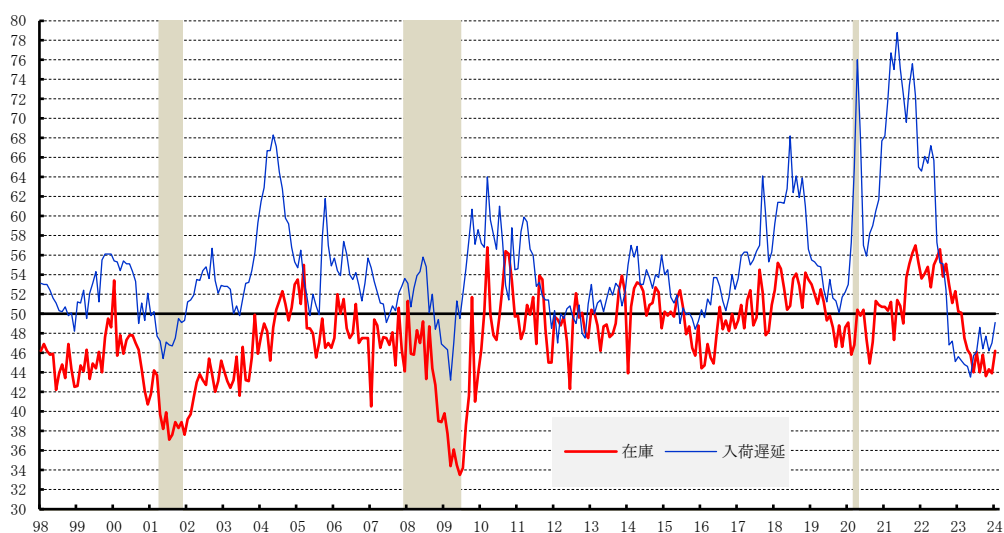
ISM景気指数の推移



(出所) ISM

(注) シャドー部は景気後退期

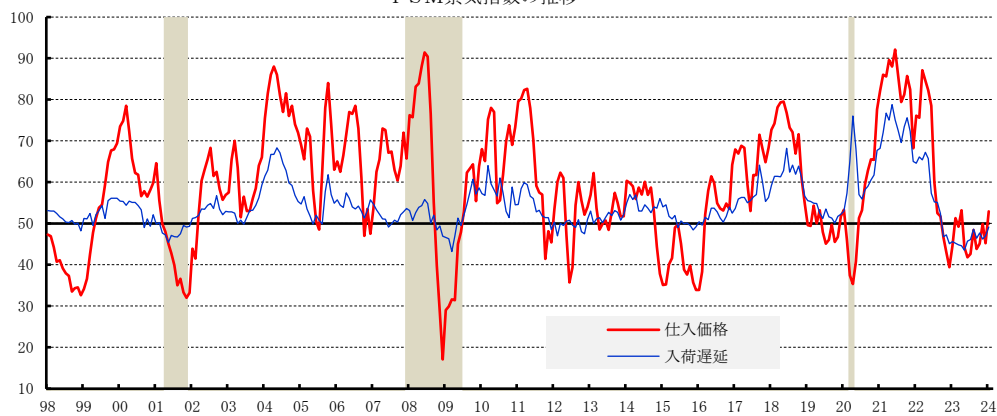
ISM景気指数の推移



(出所) ISM

(注) シャドー部は景気後退期

ISM景気指数の推移



(出所) ISM

(注) シャドー部は景気後退期

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

